

おのきた

## 尾北校長室から

第23号



## 「Stay foolish！」 ～ 卒業に寄せて

3月1日は卒業式。本校第72期となる卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんの新しい門出を祝い、最後に「はなむけの言葉」を贈りたい。



標題は、iPhoneなどを世に送り出した、米国のスティーブ・ジョブズ（1955～2011）が引用し有名になった言葉である。あちこちで引用されるので、知っている人も多いかと思う。彼は、アップル社の共同設立者となり、富と名声を得ながらも、しばらくしてアップル社を追われることになる。経営者としての活躍は続くのだが、多くの人に惜しまれながら56歳の若さで他界した。その彼が2005年、スタンフォード大学の卒業生に向けて15分間のスピーチをした。のちに伝説と呼ばれることになるこのスピーチの最後を飾るのが“Stay hungry! Stay foolish!”である。

“Stay hungry”とは、「貪欲であり続けよ。現状に満足せず、よりよい未来を追い求めよ。」ということ。また、“Stay foolish”とは、「愚かであり続けよ。」ということ。「愚か」と言われても、少し分かりにくいので、スピーチ全体から私なりに解釈すると——多くの人は違うやり方をすることが「愚か」だと言われるのなら、言わせておけばよい。**今の常識に囚われることなく、「未来の常識」を創り出すことにチャレンジせよ。**——革新的なアイデアを次々と世に出し、日常生活の常識を変えた、彼らしい言葉だと思う。

さて、卒業生の皆さん、皆さんにはこれからも自分がやりたいこと——それらを人は「夢」と呼ぶが——を大切にしてほしいと思う。「どうせやっても…」と諦めず、まずは**自分の中の「当たり前」を変える努力**を始めてもらいたい。それは、「新しい自分」を創ることであり、先のジョブズほどにはないにしても、身の回りの小さな「新しい常識」を創ることにつながるものになっていくからである。



折りしも、現在は“With Corona”の時代にあって、“New Normal”（新しい日常）という言葉が市民権を得るまでに至っている。これまでの「当たり前」を振り返って考えることが「愚か」というならば、私は、北高生の皆さんにはあえて「愚か」であってほしい。そして、これからは自分の未来とともに、よりよい社会の未来をも考えていくようにしてもらいたい。皆さんの中から、将来の広島県や地域をけん引する人材が多く現れることを期待してやまない。

卒業生の皆さん！ 課題の多さに苦しみ(?)ながらも、3年間、よく頑張りました。私も先生の一人なので、最後に「尾北名物・課題」を出したい。提出期限はなし、できた時でよい。

第1問 高校時代に得たものに何かがあるか？

第2問 自分の人生で高校時代とは何であったか？

何年、何十年かして振り返り、整理できたら提出してもらいたい。君たちの母校は、これからも静かにここ槇峰の丘に立ち続け、柔らかな笑顔と成長した姿を携えて君たちが来るのを待っている。



改めて、72期生、卒業おめでとう。3年間、よく頑張りました。そして、次の73期生・74期生、君たちの番がやってくる。一步前へ！